

(令和2年8月試験研究業務月報)

試験研究課題：ホンダワラ等有用海藻類の増養殖技術に関する調査

情 報

アカモク養殖種苗を生産中

近年、健康効果が注目され、需要の拡大している海藻「アカモク」ですが、天然ものは資源の年変動が大きく、ほとんど収穫できない年もあります。そのため海洋センターでは、独自に開発した種苗生産技術を用いて漁業者向けの養殖用種苗の生産と養殖指導を行っています。

アカモク養殖の生産サイクルは、陸上生産した種苗を10月頃に海面の養殖施設に展開して翌2月頃に収穫するものであり、現在は陸上生産の最終段階です。今年は8月に晴天が続いたため海水温が異常に高くなるなど厳しい条件となりましたが、過去の知見を活かしたきめ細かな調整により、漁業者の種苗配付要望数を確保できる見通しです。

新型コロナウイルス感染拡大により需要面の不安もありますが、このような時期であるからこそ、安心・安全かつ府民の健康維持に資する水産物の供給に向け、流通・販売面の課題解決を含めた生産振興の取り組みを関係機関と連携して進めていきます。



陸上でのアカモク種苗生産の様子、8月末時点で順調に成長している種苗